

平成22年度 県土整備部環境配慮事例報告書

事業主管課	河川局河川整備課
実施機関	県土整備部(阿南)

【事業の概要】

事業の種類	河川・ダム等の整備	河川事業
事業箇所名	大津田川 阿南市長生町大津田	
事業の規模・状況	1.45 km	小規模事業a 施工段階

【事業の目的及び概要】

当該河川は、河道整備ができておらず、流下能力が不足しており、洪水時には浸水被害が多発している。このため、本河川の改修を早期に行い、浸水被害の軽減を図るものである。
 全体計画延長L=1,450m、計画高水流量Q=50m³/s(1/5規模)

【実施した環境要素の一覧及びRDBの有無、モニタリングの要否】

大気環境	水環境	地形・地質等	生物多様性	景観	自然とのふれあい	文化財	廃棄物・温室効果ガス等	RDB種の有無	モニタリングの要否

【特に配慮した環境要素と実施事項】

環境調査の結果、希少種としては、植物では徳島県版レッドデータブックで絶滅危惧 類のオグラコウホネ、アゼスゲを含む3種が、魚類では同絶滅危惧 類のメダカ、モクスガニを含む7種が確認された。このため、環境配慮アドバイザーから助言・意見をいただき、希少種の生育・生息環境に配慮した計画策定を行った。(特にオグラコウホネの保全に着目した計画)

- 元の河床形状をスライドダウンさせるよう縦横断方向に河床高に変化をつけ、非灌漑期に生育水深(50cm程度)を確保する。
- 根茎が含まれる現河床土を30cm以上、新河床土に敷き均す。
- 河床際に寄せ石を配置し、河床に変化をつけた際の河岸際の洗掘防止対策と同時に、水中生物の生育環境を創出する。

【目標に対する達成状況】

現在、設計中であり、今後、実施の際には、施工中及び施工後において状況把握に努める。

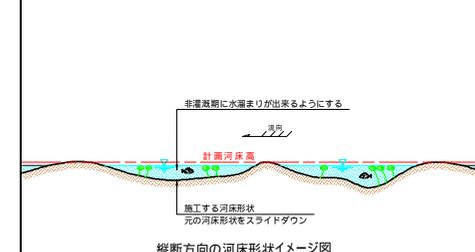
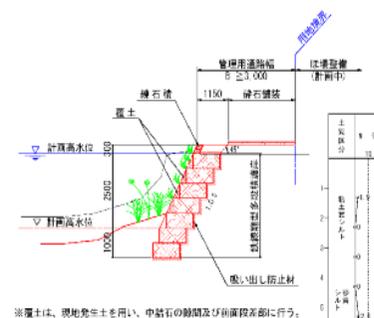
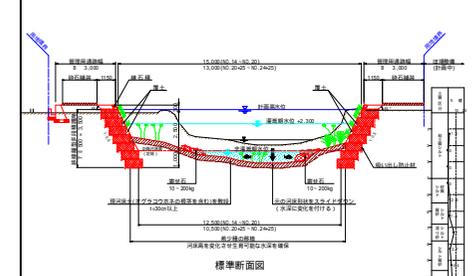
【実施事項に対する評価】

実施者	専門家のアドバイスをもとに、希少種に配慮した設計を進めているところである。今後、この設計が十分に反映されるよう、現地で施工業者との打ち合わせをしっかりと行う。
主管課	河道断面の確保については、河道拡幅及び河床掘削が不可欠であり、自然環境の改変を余儀なくされるが、可能な限り影響が出ないよう工事を実施していくことが重要である。今後も専門家等の意見をいただき、適切な工事施工に努めたい。
専門家	工事にあたり、アドバイザ等に相談しながら環境調査を行い、配慮を進めていっていることは評価できる。当地は環境省の重要湿地となっており、良好な自然環境がある場所なので、地元の研究者などと相談しながらさらに環境配慮に努めていただきたい。

位置図・平面図等



写真、図面等



※覆土は、現地発生土を用い、中詰石の動揺及び河床段差部に行う。